



平成 18 年度 第 4 回 (2006 年 8 月度)

日 時	平成 18 年 8 月 19 日(土) 9 時 30 分～12 時 15 分
場 所	新赤坂事務所：港区赤坂 6-13-6 赤坂キャステール ソフィア
出席者	理事 : 植村、竹政、山内、神野、土屋、廣瀬、宮川、内田 (記) 監事 : 大久保 事務局 : 鹿野 (順不同、敬称略) (計 10 名)
欠席者	理事 (委任状有) : 関口(植村)、富田(植村)、泉澤(土屋)、上田 (植村) (委任状無) : 岡、岡崎、西村 監事 : 高柳 オブザーバー : 坂井 (敬称略)
議 題	特別事項 審議事項 1 新入会員承認審査 (神野) 2 赤坂事務所の事務所賃貸と光熱費 (宮川) 3 土屋氏の再入会 (廣瀬) 4 AMB 尼崎ディスTRIBーションセンター 見学会 (植村) 5 6 7 8 9 報告事項 1 PE/FE 合格祝賀会の見送り 2 ラストリゾート説明会 (植村) 3 鬼金 CPD STATUS REPORT (大久保) 4 NSPE2006@Boston 参加報告 (土屋) 5 2005 年度総会会計報告 (土屋) 6 6 月 7 月会計報告 (土屋) 7 九州地区活動報告 (廣瀬) 8 CPD セミナー (山内) 9 MOT 研究会第 2 回会議報告 (竹政)
添付資料	添付 1. NSPE2006@Boston 参加報告 (土屋) 添付 2. 総会会計報告 (土屋) 添付 3. 6 月度試算表 (土屋) 添付 4. 7 月度試算表 (土屋) 添付 5. 7 月度部会別会計報告 (土屋) 添付 6. 添付 7. 添付 8. 添付 9.



議事内容	アクション
<p>審議事項</p> <p>1. 新入会員承認 (神野) 下記2名の新入会員が承認された。 FE-0311 朝倉 安佳さん (入金確認) FE-0312 福田 哲史さん (入金確認) PE合格 FE-0250 宮城 雅一さん→PE-139 退会者希望者 FE-0185 河合 克彦さん FE-0215 矢原 弘樹さん 会員総数： 理事会前：PE 120名、FE 196名、AF 13名、ST 3名、合計 332名 理事会後：PE 121名、FE 195名、AF 13名、ST 3名、合計 332名</p> <p>2. 赤坂事務所の事務所賃貸と光熱費 (宮川) 事務所の賃貸について、これまで家主負担という条件であった光熱費に関して、FE試験の継続により当初の使用時間の目安よりも多くなるため、JSPE/JPECで負担すべきではないかという議論があった。 審議の結果、JSPEとしてはこれまで通りの条件で家主との契約を継続することとするが、JPEC殿で負担すべきと判断された場合には、家主との間で話し合っていたこととした。</p> <p>3. 土屋氏の再入会 (廣瀬) 土屋秀雄氏 (PE) の JSPE 再入会について討議した。廣瀬理事より土屋氏からの意思表示、過去の経緯、協会の決まり等の説明の後、以下の提案があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土屋氏のご意思:2006年8月7日「JSPEのHPを見て、JSPEの発展、積極的な運営を知り、これはJSPE役員の方々のご努力のたまものであると感じ入りました。JSPEの更なる発展へ向けて改めて一新会員としてサポートしたい。過去JSPEにご迷惑をおかけしたことには陳謝したい。」 ・過去の経緯：土屋氏は、JSPE発足者の1人として2000年9月～2001年6月まで初代会長を勤められた。2000年10月～2003年3月まで年会費を納入されたことにより同期間JSPE在籍。2003年4月～2004年6月まで1年間以上会費を滞納されたことにより、協会の定款並びに運用規定により資格喪失者となった。 - 定款第9条第1項第3号 [会員の資格の喪失] 「正当な理由無く会費を滞納し、催告を受けてもそれに応じず、納入しないとき。」 - [会費未納による退会の取り扱いについて] 2004年5月12日、「資格喪失の条件③原則、再入会不可。しかし、会費未納の正当な理由がありその会費を支払うことで再入会を認めることがある。」 - 資格喪失者リスト 2004年10月27日、「土屋秀雄氏 2003年度分¥12000未納。」 - 平成16年5月度理事会、審議事項③「2004年5月12日付運用規定、[会費未納による退会の取り扱いについて] 承認。」 - 平成16年7月度理事会、審議事項①「土屋秀雄氏を資格喪失者とする。再入会は、未納入分の会費の納入がなければ認めない。」 ・提案：「土屋秀雄氏の再入会を認める。但し、以下の条件つきとする。」 <ol style="list-style-type: none"> 1. 2003年度会費未納分¥12000を納入。 2. 会員登録の申請書類に従い新入会員手続きをとる。 3. 入会金¥3000を納入。 4. 平成18年度分年会費を月割りにて納入 (9月から入会の場合、¥7000)。 	



議事内容	アクション
<p>審議の末、上記提案が承認された。尚、土屋氏への連絡を廣瀬理事がとり、その後の会員登録手続きは会員部会経由とする。</p> <p>4. AMB 尼崎ディストリビューションセンター見学会 (植村) CPD セミナーとして、標記見学会を11月23日13:00-17:00に実施する。関西地区の大学の工学部にも案内を出す。その学生からは、コピー代・懇親会代として1000円ずつ徴収する。AMB 社内の同意が得られれば即案内を作成して発信する。</p> <p>報告事項</p> <p>1. PE/FE合格祝賀会の見送り 今年4月の試験は現在の入手した情報ではPE合格者がFE-0250 宮城 雅一さん一名であり、合格祝賀会は見送りとしたい。 宮城さんには記念品を送付して祝賀とさせて頂くこととした。</p> <p>2. ラストリゾート説明会 (植村) 9月16日(土)に「エンジニアの海外移住のためのセミナー」をラストリゾート社主催、JSPE 後援で実施する。</p> <p>3. 鬼金 CPD STATUS REPORT (大久保) ・7月までの実績を報告した。 関東ではビジネス英語 2006、鬼金 CPD 関東・実務コースを、関西では鬼金 CPD2006 コースを実施している。鬼金 CPD 関東・実務コースは受講者のドタキャンが多く、採算的に他のコースの足を引っ張っている、これを休講し、鬼金 CPD2006 基本コースを開講することを検討中。(資料添付なし) ・11月3日、PMI 東京支部主催のPMフォーラム2006大会で、大久保世話人がJSPE/REP コーディネーターの資格で、鬼金 CPD2005 の活動内容の一部を「リスク確率の英語表現、西欧人 PM と日本人 PM のちがひ」のタイトルで発表することになった。(資料添付なし)</p> <p>4. NSPE2006 年次総会@Boston 参加報告 (土屋) 添付資料1参照 7月7~9日ボストンにて開催されたNSPE Annual Meetingに参加。概要は下記。 ・New President Mr. Bob Miller が就任。House of Delegates という各州1名の評議員組織が発足し、今後全米レベルでのマネジメント体制が大きく変わる。 ・Western Pacific Region Meeting に参加。全国組織と州組織との挟間の中。また財務的にもRegional 組織は力が乏しいので、その存在感が不明確であるという印象を受けた。全米組織役員を送るための一つの組織とは言えるが、先の House of Delegates による直接運営も始まり、今後の動向が注目される。 ・年1回の全国大会へはこれからも継続してJSPE 代表を派遣し、その存在を示すべき。しかし参加登録料が非常に高い。渡航・宿泊費は、今回派遣者の業務出張の一部としたために不要だったが、参加登録費および optional social event 参加費を加えると合計900ドル弱掛かった。次予算上の配慮が必要。 ・マサチューセッツ州の公共事業プロジェクトの紹介およびその見学会があった。非常に興味深い内容だったので、別途 CPD セミナーなどでの紹介を行う予定。</p> <p>5. 2005 年度総会会計報告 (土屋) 添付資料2参照 7月2日東京グランド 有明において開催されたH17年度総会は、東大宮田教授による特別講演セミナーを含め39名が参加し成功裏に終了した。収入は予算20万円を若干下回る11.8万円、支出は予算38万円に対し、34万円であった。予算を4万円程度超過したがまずまず想定内で納めることができた。</p>	<p>廣瀬理事</p> <p>植村会長</p>



議事内容	アクション
<p>6. 6月7月会計報告 (土屋) 添付資料3、4、5参照 6、7月は事業報告書作成、総会開催、NSPE2006 Annual Meeting 派遣等物入りの2ヶ月間であった。例年は、この当たりで年間事務所賃貸料を支払うとキャッシュフローがタイトになるところであるが、今年度は会費督促の前倒し請求および鬼金受講料の前納制が奏功して資金の心配はない。上記いずれのイベントでも当年度予算を大きく逸脱せずに進行中。上期をあと一ヶ月残すところだが、各部会では当年度予算申請をしている未着手事業については計画的に実施されたい。</p> <p>7. 九州地区活動報告 (廣瀬) 「FE試験推進委員大学の連絡会報告」 7月28日のJSPE九州地区会員との親睦会、7月29日のFE試験推進委員大学との連絡会について、添付のごとく報告した。この連絡会において関西以西のいくつかの大学にFE試験推進大学があることが分かったので、今後のJPECそしてJSPEのそれらの大学への活動が求められる。</p> <p>8. CPDセミナー (山内) 9月18日(月)(祝日)に、第87回CPDセミナーを実施予定。日産自動車横浜工場見学会。同業者は不可のため、事前に会社名、タイトルなどを教育部会にて集計・チェックの上、日産さんから許可を頂くこととする。</p> <p>9. MOT研究会第2回会合報告 (竹政) 7月22日にJSPE赤坂事務所にて、MOT研究会第2回会合を実施した。主な内容は、3月より毎月会員13名から提出して頂いた報告書を元に、6名の出席者が内容を発表し、内容検討を行なった。 10月に現在の教科書が終了するので、それまでに次の英文教科書を購入したいので、理事会に購入申請を出したい。価格は約1万円。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>教育部会</p>

承認	植村 大輔
承認	竹政 一夫
承認	土屋 雅彦
記録作成	内田 宏